

会 議 録

1 会議名

令和5年度第2回清里区地域協議会

2 議題（公開・非公開の別）

(1) 協議事項（公開）

ア 地域活性化の方向性について

(2) その他（公開）

3 開催日時

令和5年5月25日（木）午後3時00分から午後4時10分まで

4 開催場所

清里区総合事務所 3階 第3会議室

5 傍聴人の数

2人

6 非公開の理由

—

7 出席した者（傍聴人を除く。）の氏名（敬称略）

- ・委員：古澤文夫（会長）、山川正平（副会長）、桑原正史、竹田恵理子、笹川重作、
佐々木勝峰、保坂幸男、堀川敏子、向橋マチ子、松永誠一
- ・事務局：清里区総合事務所 佐藤所長、岩崎次長、横山市民生活・福祉グループ長
（併教育・文化グループ長）、近藤班長、田村主査

8 発言の内容（要旨）

【岩崎次長】

会議の開会を宣言

羽深正委員、横山芳一委員の欠席を報告

上越市地域自治区の設置に関する条例第8条第2項の規定により、委員の半数以上の出席を確認、会議の成立を報告する。

【古澤会長】

挨拶

【佐藤所長】

挨拶

【古澤会長】

会議録の確認を松永誠一委員に願います。

協議事項に入る前に、昨年から課題となっている「棚田作業施設の利用見込みについて」、上越ものづくり振興センターから説明を求める。

【大坪所長】

令和4年4月から施設の利用がない状態となっていたため、地元団体等との意見交換を踏まえ、地元清里区内の方の利用を優先とし、令和4年12月に清里区内に施設利用を呼びかけ、令和5年2月末に一般社団法人櫛池農業振興会より棚田作業施設を活用したいと提案があった。

今後、櫛池農業振興会と施設の活用内容の詳細を確認し、利用していただくことで調整を進めていく。

【古澤会長】

ただ今の説明について、皆さんから質問等はあるか。

【堀川委員】

地域の皆さんへのお知らせはどのようにするのか。

【大坪所長】

活用内容の詳細が決まりしだい、地域協議会へ報告し、総合事務所長と相談のうえ清里区全戸にたより等で周知することを考えている。

【古澤会長】

次に、次第4「協議事項」に入る。

「地域活性化の方向性について」事務局から説明を求める。

【近藤班長】

資料1により説明

【古澤会長】

事務局からの説明に基づき、後日、提出することになる構成要素の修正と順位付けの参考とするため、意見交換を行う。

委員の活発な意見交換を願います。

【堀川委員】

トイレの改修に関する意見があった。地域の方々が困っているので、「地域活性化の方向性」の取組とは別に、取り扱う方向で対応いただけないか。

【佐藤所長】

キャンプ場、スポーツセンターそれぞれ所管が異なる。地域の皆さんの利便性、使い

勝手に考慮したうえで、必要な整備は各所管の予算要求の中で総合事務所として対応していきたい。

【堀川委員】

早急をお願いしたい。

【笹川委員】

市でやるということか。

【佐藤所長】

そうである。所管が決まっている施設については、その予算で対応することが基本となる。キャンプ場のトイレは板倉区総合事務所と協議する。

【古澤会長】

配布された資料に反映されていない意見はないか。なければ資料を基に意見交換をお願いする。

【山川副会長】

自然豊かで基幹産業が農業といった地域であるが、少子高齢化が進み高齢化率が40%となっている。

都市住民に清里に来てもらうには、空き家を活用して田舎暮らしを体験してもらい、移住してもらう必要がある。

人を呼び込めるような活動をした方がよい。

【保坂委員】

自然をいかした形で人の呼び込みができないか。自然と観光はイコールとして考えてはどうか。

基幹産業は農業であるため、農業を中心に考えてはどうか。

【堀川委員】

基幹産業は農業である。その反面でベッドタウンという形で区外へ生業の場を求めている人も多い。生計を立てる手段は農業以外であっても、清里区に住んでもらえるように環境整備を図ってはどうか。

【松永委員】

清里区は中山間地域であり、マイナスのイメージやハンデがある。愛着とか安心とか満足を感じながら生活していくためには、何が地域として必要なのか。

【向橋委員】

坊ヶ池のトイレ整備。清里区は農業。梨平の棚田はきれいに整備されているが、田ん

ぼが荒れ地にならないように持続可能な支援をお願いしたい。

【竹田委員】

農業のこと、空き家を利用する、若い人たちを呼び込む。

大人も子どもも楽しめるイベントはどうか。

【佐々木委員】

主要産業は農業であるが、今、清里区内で農業をやっている方は少ない。これからも農業従事者は減っていく。農業以外の産業なり、近くで働けるところを主として検討し、人がいなくなることを食い止めていくことが先決である。

【笹川委員】

清里区の特性は、坊ヶ池、農業、自然である。

坊ヶ池を活用するためにキャンプ場とトイレの整備をして人を呼び込みたい。

農業については、個人と法人が協力して農業体験等を行っていければよい。

【桑原委員】

全国的に農業法人が増えていて、若い就農者も増えている。若い就農者からアイデアを提案してもらい、交流人口を増やす。

信越トレイルに関するホームページは長野県のものが多い。清里区で信越トレイルを整備することも大事であるが、もっとPRをしたほうがよい。

【堀川委員】

大規模な耕地整備により、地域に住むという愛着性が効率化のために消えてしまうことを危惧している。

【佐々木委員】

権利をもっているだけで耕作していない。

観光であれば、坊ヶ池を整備して人を呼び込むのが1つのポイント。どんな形かは、これから検討していく。

【向橋委員】

坊ヶ池の観光に力を入れたい。

浦川原区の月影の郷で毎年6月に芸能祭をやっている。清里区でも坊ヶ池周辺でやっ
てはどうか。

【古澤会長】

定住人口を増やすことは難しいが、交流人口を増やすことはできる。今、若い人に農業は人気がある。それを利用して交流人口を増やすことはどうか。

梨窪集落は、高齢化が進み、集落の草刈り等の作業ができなくなっているため、梨窪から転出された人たちに声を掛け、日曜日に作業をしている。

坊ヶ池までの自転車ロードレースをやって、人を呼び寄せてもいいと思う。

それでは、いまほどの意見交換を参考に、構成要素の修正と順位付けについて、6月12日（月）まで事務局に提出をお願いします。

【近藤班長】

様式は任意でお願いしたい。

資料1の構成要素に修正があればお願いしたい。

【笹川委員】

何に順番をつけるのか。

【近藤班長】

構成要素について順番をつけてもらう。

【古澤会長】

提出してもらったものをまとめて、次回の地域協議会である程度素案を作成し、その次の地域協議会で「活性化の方向性」をまとめたい。

【佐藤所長】

整理させていただくが、「地域活性化の方向性」をつくっていくために、清里ととして特に力を入れたいもの5つに順番をつけてもらいたい。

【桑原委員】

自分の考えで、順番をつければいいのか。

【佐藤所長】

まずは皆さんの考えで順番をつけてもらい、地域協議会でまとめていく。

【古澤会長】

次に、次第5「その他」に入る。

次回の令和5年度第3回清里区地域協議会について、6月29日（木）午後3時から、清里区総合事務所第3会議室で開催したいと思うが、よろしいか。

（委員了承）

次に、令和5年度4区地域協議会委員合同研修会について、事務局から説明をお願いします。

【近藤班長】

6月12日（月）午後3時から4区地域協議会委員合同研修会が行われる。マイクロ

バスが清里区総合事務所を2時15分に出発する。情報交換会の会費は、バスの中で集めさせていただく。

【古澤会長】

その他、事務局から何かあるか。

【近藤班長】

地域自治の推進に向けたアンケート調査への協力をお願い。

【古澤会長】

その他、皆さんから何かあるか。

ないようなので、以上をもって第2回地域協議会を終了する。

最後に山川副会長から、閉会の挨拶を願する。

【山川副会長】

閉会の挨拶

9 問合せ先

清里区総合事務所 総務・地域振興グループ

TEL025-528-3111(内線225)

E-mail : kiyosato-ku@city.joetsu.lg.jp

10 その他

別添の会議資料も併せてご覧ください。